

2016（平成 28）年度事業報告書(案)

—2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要		
1	建学の精神	…	1 頁
2	学校法人の沿革	…	2 頁
3	設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
4	学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況	…	4 頁
5	役員の概要	…	6 頁
6	評議員の概要	…	7 頁
7	教職員の概要	…	8 頁
2	事業の概要		
1	事業の概要	…	9 頁
2	主な事業の目的・計画及びその進捗状況	…	17 頁
3	施設等の状況	…	29 頁
4	その他	…	29 頁
3	財務の概要		
1	決算の概要	…	30 頁
2	経年比較	…	33 頁
3	主な財務比率比較	…	36 頁
4	その他	…	40 頁

1 法人の概要

1 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険を冒し、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。また、聖隷学園は地域の人々にとって役に立つ学園であることを願っています。地域社会の発展に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや発展途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第 13 章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた・・・」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教えを示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926 年（大正 15 年）4 月、長谷川保ら 10 人ほどのクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3 世紀半ば頃の半伝説的な殉教者の名前です。世界で最も強い人に仕えたいと願った彼が、王様や悪魔の家来を経て、最後にたどり着いた師がキリストでした。そして、この伝説の最後で彼は少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶのですが、その少年（キリスト）は世界のすべての罪と苦しみを背負い、誰よりも重かったのです。以後、「クリストファー」はキリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称としてヨーロッパ諸国に広まっていきました。聖隷の創業者・長谷川保は、クリストファーがキリストを背負ったように、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、大事にケアする人が育ってほしいとの願いから、校名を「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



外側の二重円は、最後の晩餐でイエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の 3 つの円は、聖隷グループが使命とする医療、福祉、教育を象徴。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業が、キリスト教会の中から始まったことを示しています。故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981 年聖隷学園に奉職）により 1980 年（昭和 55 年）に聖隷のシンボルマークが考案されました。

2 学校法人の沿革

1930 年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936 年	浜松市三方原町の県有地7ヘクタール(21,000坪)払下げになる
1939 年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949 年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952 年	聖隷准看護婦養成所開設
1966 年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969 年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980 年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988 年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992 年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998 年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科(修士課程)設置
2001 年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002 年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003 年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004 年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科(修士課程)を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006 年	大学院にリハビリテーション科学研究科(修士課程)を設置 高等学校に英数科を設置
2007 年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008 年	大学院に保健科学研究科(博士後期課程)を設置 大学社会福祉学部にくども教育福祉学科を設置
2009 年	聖隷クリストファー中学校設置
2010 年	大学看護学部に養護教諭課程開設
2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びこども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設

3 設置する学校・学部・学科等（2016年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリストファー大学	1992年	看護学部	看護学科	
	2007年	助産学専攻科		
	2002年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011年度より3学科に改編 2013年度「臨床介護福祉学科」を 「介護福祉学科」に名称変更
	2008年		こども教育福祉学科	
	2011年		介護福祉学科	
	2004年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011年度より3学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998年	大学院看護学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
	2006年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程		
聖隷クリストファー大学 介護福祉専門学校	2016年	介護福祉学科		
聖隷クリストファー高等学校	1966年	普通科		1974年衛生看護科から移行
	2006年	英数科		
聖隷クリストファー中学校	2009年			
聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園	2011年			

※2013年度 大学院保健科学研究科廃止、「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更

4 学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況（2016年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院

（単位：人）

		収容 定員	在 籍 者 数				
			1年	2年	3年	4年	合計
大学院	看護学研究科	35	7	12	23	－	42
	博士前期課程	20	3	7	－	－	10
	博士後期課程(*1)	15	4	5	23	－	32
	社会福祉学研究科	29	5	9	2	－	16
	博士前期課程	20	3	5	－	－	8
	博士後期課程(*1)	9	2	4	2	－	8
	リハビリテーション科学研究科	35	10	14	5	－	29
	博士前期課程	20	8	12	－	－	20
	博士後期課程(*1)	15	2	2	5	－	9
	大学院合計	99	22	35	30	－	87
大学	看護学部	590	160	154	151	166	631
	看護学科	590	160	154	151	166	631
	助産学専攻科	15	17	－	－	－	17
	社会福祉学部	500	82	104	98	92	376
	社会福祉学科	180	31	39	37	44	151
	介護福祉学科(*2)	160	12	17	14	13	56
	こども教育福祉学科	160	39	48	47	35	169
	リハビリテーション学部	340	108	98	91	105	402
	理学療法学科	120	39	42	33	39	153
	作業療法学科	120	35	37	35	34	141
	言語聴覚学科(*3)	100	34	19	23	32	108
	大学合計	1,445	367	356	340	363	1,426
	総 合 計	1,544	389	391	370	363	1,513

(*1) 2011年度開設。

(*2) 2015年度まで臨床介護学科の学生を含む。

(*3) 2015年度まで言語聴覚学専攻の学生を含む。

聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数			
		1 年	2 年	3 年	合計
英数科	214	54	57	68	179
普通科	668	216	266	181	663
総 合 計	882	270	323	249	842

聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数			
		1 年	2 年	3 年	合計
総 合 計	210	44	60	48	152

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数						合計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	225	15	15	15	60	60	60	225
1号認定者	135	—	—	—	37	45	42	124
2.3号認定者	90	7	15	16	15	17	15	85
総 合 計		7	15	16	52	62	57	209

5 役員の概要

2017年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任(法人事務局長兼任)
理 事	小島 操子	常 勤	2007年4月聖隷クリストファー大学学長就任 2007年4月理事就任
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2016年4月聖隷クリストファー中・高等学校校長就任 2016年4月理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリストファー大学看護学部部長就任 2016年5月理事就任
理 事	大城 昌平	常 勤	2013年4月聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部部長就任 2013年5月理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園総園長就任 2012年5月理事就任
理 事	小川 義文	非常勤	2015年4月理事就任 (東京海上日動火災保険株式会社浜松支店長)
理 事	山本 敏博	非常勤	2001年4月理事就任 (聖隷福祉事業団理事長)
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月理事就任 (聖隷三方原病院院長)
理 事	鳥居 裕一	非常勤	2012年11月理事就任 (聖隷浜松病院院長)
理 事	中村 勇	非常勤	2016年4月理事就任 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 取締役社長)
監 事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月監事就任 (静岡県西部地域しんきん経済研究所 理事長)
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月監事就任 (十字の園理事長)

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2016年11月理事退任

2016年3月31日以降の異動状況

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
【退任】			
理 事	山下 峰雄	常 勤	2016年3月理事退任
理 事	山下 香枝子	常 勤	2016年3月理事退任
理 事	黒須 篤夫	非常勤	2016年3月理事退任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2016年11月理事退任
【就任】			
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2016年4月理事就任
理 事	中村 勇	非常勤	2016年4月理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年5月理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2016年11月理事就任

6 評議員の概要

2017年3月31日現在
定員数 27名

氏 名	主 な 現 職 等
長谷川 了	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
小島 操子	聖隷クリストファー大学 学長
茨城 久一郎	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
大城 昌平	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
横尾 恵美子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長
太田 雅子	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
小川 義文	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
宮前 珠子	聖隷クリストファー大学大学院リハビリテーション科学研究科長（大学院三研究科長代表）
寺田 博義	聖隷クリストファー高等学校 教頭
敷浪 いづみ	聖隷クリストファー中学校 教頭
山根 之雄	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
中村 憲司	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	学校法人聖隷学園 法人事務局 企画部長
玉澤 卓也	大学同窓会会長：聖隷厚生園 讃栄寮
木村 忠雄	大学同窓会副会長：（社）さくま デイサービスセンター
榊原 和美	高等学校 同窓会長：（株）すみれ ケアプランセンターすみれ代表取締役社長
柏原 栄作	大学・専門学校後援会長：社会福祉法人ひかりの園 第三静光園
井口 雅之	中・高等学校 P T A会長：井口建築事務所
平野 芳子	日本基督教団遠州栄光教会 主任牧師
長澤 道子	（社）牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	（社）小羊学園 理事長
加藤 成久	（社）神戸聖隷福祉事業団 理事
森本 俊子	（社）聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	学校法人堀口学園 理事長、（社）愛の園福祉会 理事長

7 教職員の概要（2016年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

（単位：人）

	専 任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	17	11	25	0	53	51	104
社会福祉学部	15	5	7	0	27	53	80
リハビリテーション学部	13	9	10	0	32	74	106
助産学専攻科	1	1	1	0	3	29	32
合 計	46	26	43	0	115	207	322

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

（単位：人）

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	3	17	0	20

聖隷クリストファー高等学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	41	47	88

聖隷クリストファー中学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
中学校	10	8	18

クリストファーこども園 教員数（調理員等含む）

（単位：人）

	専任	準職	合計
こども園	18	35	53

※準職は7.75hで1名換算

職員数

（単位：人）

	専任	準職	派遣	合計
法 人	14	2	7	23
聖隷クリストファー大学	41	7	4	52
聖隷クリストファー中・高等学校	5	3	0	8
クリストファーこども園	3	11	0	14
合 計	63	23	11	97

2 事業の概要

1 事業の概要

(1) 法人全体

◆ メディカルスクール設置構想

国政として国際基準に合わせた医学教育（2023 年以降）の改革が掲げられています。この対応としてメディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去 6 年制医学部から 4 年制メディカルスクール（学部卒後）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナシュ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

◆ 小学校設置構想

建学の精神であるキリスト教精神に基づいたこども園から専門職大学院（メディカルスクール）までの一貫したグローバル化の構築に向けた聖隷学園中長期経営計画（2016 年度から 2025 年度まで）を策定しました。中長期経営計画において、将来、キリスト教精神を基盤とした英語イマージョン教育による小学校設置構想を掲げています。こども園から小学校、中・高等学校につなげる英語教育の展開を意識しながら、大学、メディカルスクール進学を見据えたグローバル化を図るため、学園全体で連携して検討していくための準備を進めています。

◆ 中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、アベノミクス政策により人件費比率は毎年 1%近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では 63%、中高では 60%、こども園では 70%以下を前提とした人事政策を実施していきます。2016 年度は人事政策として大学教員任期制度の導入に向けて準備を行ない、2017 年度から助教を対象に導入します。教職員人事評価制度については、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度構築に向けて改定案をまとめ、事務職員は 2017 年度から、大学教員は 2018 年度から新評価制度を導入に向けて準備をしています。今後、中・高等学校についても検討をしていきます。

◆ 地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。2016 年度は十字の園が進行担当法人として、研修面での連携・協力について話し合いが行なわれ、お互いの関係、理解を深めました。災害時の対応として、大地震発生時は聖隷学園 5 号館に三方原サミットの災害対策本部が設置されます。災害時の情報共有のため、昨年に引き続き 1 月に三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。災害に備え、今後も訓練を定期的実施していきます。

9 月には、第 7 回キリスト教信徒交流会を開催しました。聖隷福祉事業団が担当法人となり、「互いに知ろう、聖隷グループの働きと仲間たちのこと」をテーマに各法人の現状について発表、意見交換を行いました。聖隷グループ各法人で働くクリスチャンを中心に約 90 名以上が参加されました。

（２）聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学の使命は地域に根ざした保健医療福祉の実践であり、また 21 世紀の世界に人材を送り出すことでもあります。そのため地域の保健医療福祉のレベルの向上に大きく貢献すること、保健医療福祉の未来を創るリーダーとなる質の高い人材育成をすることを目指しています。

2016 年度の事業計画では、10 項目の重点項目および 9 つの重点課題とそれを解決するための基本目標・行動目標を事業計画の骨子に定め、各学部・各分門にて個別行動目標と個別行動計画を策定し実行することにより様々な観点から大学改革を推進してきました。

重点項目

- 1 全学的な教学マネジメントの推進
- 2 内部質保証システムによる教育の充実
- 3 研究の質的・量的な向上と研究成果の公表
- 4 多様で優秀な学生の獲得
- 5 介護福祉学科の入学生を増やすための活動の強化
- 6 教育技法の革新によるアクティブラーニングの促進
- 7 倫理面を重んじた学生指導・支援の強化・充実
- 8 大学への学生の帰属意識の醸成
- 9 教育のグローバル化に向けた国際交流活動の推進
- 10 中期的な教員人事計画の策定

1 教育・研究

【全学的な教学マネジメントの推進】 【教育技法の革新によるアクティブラーニングの促進】

全学的に教育改革・教育の質的転換を図るために私立大学等改革総合支援事業を活用し、事業の対象校となれるよう大学の教育の質向上のために全学的に取り組みました。特に、学生の主体的な学修を促す方法と工夫のためにシラバスの改善、履修系統図・ナンバリング・CAP 制の導入、学生の学修時間等の把握、学生による授業評価結果の活用などの実施、能力意欲適性等を多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施など教育の質的転換に向けて組織的に取り組みました。その結果、事業の対象校として採択されました。

看護学部のシミュレーション教育の導入、リハビリテーション学部の学生個人用 ICT 情報端末の導入などを進め、ICT 教育の加速とアクティブラーニングを推進しました。

【研究の質的・量的な向上と研究成果の公表】

競争的研究資金の獲得推進のため、研究推進委員会を中心に学部および関係部門と連携し、科学研究費公募説明会や科研費獲得経験者を講師にした研修会を行ないました。科学研究費助成事業について新規に 9 件の研究テーマが採択されました（2017 年 4 月現在）。また、研究成果を公表する場として合同研究発表会を開催し、教員間の情報共有と研究に対するモチベーションの向上が図られました。

【内部質保証システムによる教育の充実】

大学の質の維持と向上を図るために自己点検・評価を行ない、（公財）大学基準協会の認証評価を受審し、大学評価基準に適合の認定が得られました。認定評価期間は 2017 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月末日までの 7 年間です。協会から助言として提言された事項については引き続き改善と発展に努めます。

大学基準協会認定マーク→



2 学生募集

【介護福祉学科の入学人数を増やすための活動の強化】【多様で優秀な学生を獲得するための学生募集活動の強化と充実】

最重要課題である介護福祉学科の入学人数の確保（2017 年度入学目標数 15 名）について、①教育の特長を伝える、②就職の強さを伝える、③学生の学ぶ姿、学生の声から本学を伝える、④スクールバスの運行・駐車場の整備と学生募集戦略への活用など様々な観点からの学生募集活動を行ないました。その結果、一昨年度並みの 11 名の入学人数（前年度の入学人数は 4 名）となりました。

看護学部とリハビリテーション学部は入学定員を満たす入学人数（看護学部：156 名、リハビリテーション学部：107 名）となりました。

3 学生支援

【倫理面を重んじた学生指導・支援の強化・充実】【大学への学生の帰属意識の醸成】

保健・医療・福祉の専門職者を育成する本学の学生が持つべき倫理観を身につけ、軽率な行動によって犯罪の被害者や加害者にならないように倫理面を重んじた指導を行いました。全学部生対象の薬物使用防止講習会やバイク・自動車通学者対象の交通安全講習会などの受講を徹底し、情報セキュリティ事件の防止のために、初年次教育で学生に具体例を挙げた資料を用いてソーシャルメディアの利用を含めた情報倫理指導を実施しました。

また、大学への学生の帰属意識を高めるために、学生支援協議会が学友会や聖灯祭実行委員会の活動を支援し、学生が主体的に大学ロッカー室の環境改善プロジェクトや聖灯祭での近隣の施設や住民の方との交流などの大学内での改善活動を行い、達成感を感じることができるよう機会を作りました。

4 国際交流

【教育のグローバル化に向けた国際交流活動の推進】

2013 年 11 月に交流協定を締結したアメリカのサミュエルメリット大学（SMU）との交流が 3 年目を迎えました。看護学部は、6 月に SMU からの看護研修生 10 名と教員 3 名の受け入れを行い、3 月には、学生の交流として本学学生 10 名と教員 2 名の看護研修派遣と教員 1 名の研究視察派遣を行いました。

中国第三軍医大学には、2 月に海外研修として学生 6 名と教員 1 名を、3 月に理学療法実習として、学生 2 名と教員 1 名を派遣し、同 3 月には第三軍医大学から教員 1 名と看護職員 1 名の受け入れを行い、教育と学術交流を継続発展させました。

シンガポールのナンヤン理工学院（NYP）との間では、本学から、9 月に海外研修として 3 学部の学生 23 名と教職員 2 名を、国際看護実習として学生 2 名と教員 1 名を派遣し、3 月に NYP から看護学部及びリハビリテーション学部の学生 24 名と教員 2 名の受け入れを行い、相互交流を継続しました。

アジア圏における大学との新規交流校の開拓として、9 月に韓国・カトリックサンジ大学と交流協定を締結しました。

(3) 介護福祉専門学校

介護福祉の知識や技術・価値・理念とキリスト教精神に基づく隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のように他者のことを考え「愛の実践」ができる介護福祉士の人材養成教育を目指しています。

2016 年度は開設初年度であり、教職員が連携して教育、学生支援、学校運営において十分に取り組み、円滑にスタートをすることができました。2016 年度の事業計画では、教育理念に基づいた学校運営、教育活動、学生募集活動を重点項目に掲げ取り組みました。

1 入学生を確保するための学生募集活動（2017 年度入学者目標数 30 名）

介護に関するイメージの向上を図るよう、高校生・保護者・高校教員の介護に対する悪いイメージと実際とのギャップを埋め理解が進むよう、オープンキャンパス、高校内ガイダンスなどを通して介護現場で働く方から介護の魅力・やりがい・将来性などを直接伝えました。また、①豊富な就職先、②充実した経済的サポート、③大学レベルの教育、④多様な進路など専門学校の魅力を PR しました。その結果、26 名の入学者（入学目標数 30 名）となりました。

2 大学と一体となった教育活動の確実な実行

大学の介護福祉学科・社会福祉学科・こども教育福祉学科の教員の協力を得て、大学教員が専門学校の一部の科目を担当することによる大学と専門学校が一体となった教育を行なうことができました。学生の満足度も高く、担当教員の学生評価も高い結果が得られました。

また、合同実習発表会やスポーツ大会など主体的かつ自律的な学生生活ができる場の提供ができました。このような活動を通して専門学校の学生と大学介護福祉学科の学生との積極的な交流が図られました。

3 教育理念に基づいた専門学校運営

聖隷介護専門学校の歴史の継承、キリスト教精神に基づく介護福祉教育を実施しています。毎日の礼拝を重んじ、外部の奨励者を招いて聖隷の先達の方々との出会い中で価値観や人間力の涵養を図りました。

教員は学生との距離が近い関係を築けるように、休憩時には教員自らが学生の教室に出向き、相談室や実習教育室を活用して学生と話し合う時間を持つなど、学生との良好な関係作りや信頼関係が築けるよう学生支援を行ってきました。

また、授業科目「聖隷の理念と介護福祉教育」において、将来の就職先につながる奨学金支援法人から、その法人の運営や介護福祉士の役割と働きなどを話してもらい、自分の将来像を描くことにより学修意欲の向上につなげています。

(4) 聖隷クリストファー中・高等学校

1. 本校の目標

聖隷クリストファー中・高等学校は「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉を建学の精神とし、キリスト教の真理と愛の教えに立って、国際的視野をもち、世界の平和と福祉に貢献する人物の育成を教育目標として掲げています。

生徒たちが本校に学ぶ中で、一人ひとりに与えられている賜物(たまもの)や自分の個性を自ら発見し、自分の能力や適性にふさわしい進路を実現すること、生徒の成長や卒業生の生き方を通して、保護者や地域の方々から信頼される魅力ある学校となることを、目指しています。

2. 2016 年度の歩み

- ◆2016 年度は五か年の中期教育計画であるアドヴァンスプランの最終年度であり、4 月に茨城久一郎中・高等学校校長が 7 代目校長として就任しました。アドヴァンスプランの成果や問題点を検証し、その上に次の 5 か年の新プランを策定することが、年度の大きな目標となりました。

進学校として躍進する為の、幅広い目標と施策が盛り込まれていたアドヴァンスプランをもう一步前進させ、目標を絞り込み、教育現場に立つ教員にとって、わかりやすく、働きやすく、頑張れる、自分たちの計画とするために、新校長の提案をもとに繰り返し話し合いがもたれ、新計画が策定されました。(後述)

◆セミナーハウスの完成

8 月末に自習室及び宿泊室(各 11)、面談室と教員用宿泊室(各 2)、42 人収容のセミナールーム(多目的の教室)からなる、2 階建てのセミナーハウスが竣工し 2 学期から利用が始まりました。毎日放課後 19 時まで自習室が開放され、英数科生から中学生まで、黙々と自習する姿が見られます。定期テストの前ともなれば、希望者も多く、利用は早い者勝ちの盛況ぶりです。また、英数科 2 年生のクラス単位の合宿も、12 月末と 3 月の 2 回実施され、担任が一人ひとりの生徒とじっくり面談し今後の入試計画を練る、苦手科目の克服講座を受ける、受験を終えたばかりの卒業生の体験談を聞く、などの企画がもたれ、充実した夜を過ごすことができました。仲間の真剣な勉強ぶりを目の当たりにし、普段と異なる濃い学習時間を過ごし、いよいよ高 3 となり受験生となる生徒たちにはよい動機付けの機会となりました。生徒からは、「また勉強合宿をしてほしい」との声が聞かれました。

2017 年度に入り、4~5 月にかけては、新高校一年生が全員、クラス単位で一泊ずつのオリエンテーション合宿を持ちます。進学校として、学習姿勢を整える場としてつくられたこの建物、今後様々な利用形態が工夫されていくことになるでしょう。

◆部活動について

運動部では、強化部活の野球部、男子バレー部、サッカー部、準強化部活の女子ソフトボール部、全国大会常連の少林寺拳法部などを先頭に、どの部活も日々練習に励んでいます。中でも特筆すべきは、野球部の秋季大会における、県大会初優勝です。本校開学以来初の県大会優勝旗をもたらしてくれました。今後ますます力をつけて全国大会へと飛翔してくれる日が待たれます。

部活動では専門的な技術指導に情熱を傾ける顧問と、それに応えて頑張る部員たちの取り組みが新しい風になっています。かるた部や書道部が積極的に試合やコンクールに参加しています。また放送部が第1回聖書動画コンテスト2016で最優秀賞に輝いた作品は、「隣人愛」をテーマにしたショートストーリーで、本校の日常風景を切り取ったような作品でした。

今後の課題は、文武両道を今まで以上におし進めることです。部活で思い切り活動したら、帰宅後は気持ちを切り替えて勉学に専念する、という姿勢づくりに一層力を入れていきます。

◆聖隷ならではの学園内連携プログラム

学園内の各校間の連携プログラムが年々盛んになっています。その中でも最も規模が大きく充実しているのが、高大連携プログラムの聖隷プロジェクト(略称Pクラス)です。2016年度当初の参加希望者は、100名を超えました。看護、医療、福祉等の各分野への進路希望者(高校1・2年)は、年8回程度クリスティー大学の先生方から、直接各分野についての講義を受け、大学での学習内容や、仕事の実際についてお聞きすることが出来ます。職種について具体的に知り比較できるため、進路選択にとっては大変心強い講座です。

昨年度新たにスタートしたのが、リハビリテーション学部による部活動サポート事業です。大学からのお声かけがきっかけで、まずは男子サッカー部へのサポート事業がスタートしました。高2の部員対象に「運動器検診」や体力テストをもとに「早期発見・早期治療」が実施されていくことになります。

3～4月に実施される中高の身体測定や健康診断の際には、看護学部の養護教諭課程の皆さんがお手伝いに来て下さいます。測定をしたり内科検診の助手をしたり、これが大学生にとって実習の場となっているのはうれしいことですし、看護学生が学ぶ現場を生徒たちが見ることのできる絶好の機会でもあります。

助産学専攻科生による中3生対象の思春期講座「命の大切さを伝える授業」は、性や出産について正しく知り、人生について考えさせられる素晴らしい講座です。生徒たちとも年齢の近い大学生のユーモアあふれる講座によって、知らず知らずのうちに命の尊厳に気づかされる機会です。2017年からは中学1・2年生の思春期講座もやっていただけることになりました。

どのプログラムからも大学の先生方の周到なご準備と、学生さん方の暖かく熱心な取り組みが実感でき、まさに聖隷ならではの高大・中大連携プログラムといえます。

3. 中高一貫体制の前進を

- ◆2017年4月に上村敏正(前磐田北高校副校長)が副校長として就任しました。また従来までの中学と高校の二人教頭制が中・高等学校教頭として一本化されました。中学校が開校して丸8年、6年一貫教育の基礎作りをしてきましたが、一層の一貫・一体化を進めるための組織改編です。

中学校はまだ小さい学校ですが、10余人のスタッフが心を合わせて、どの生徒をも同じように大切にし、一人ひとりの人間性を尊重し、同時に基礎的な生活・学習訓練は甘やかさず忍耐強く行っています。生徒たちは皆3年間で本当に成長する、と実感します(中学とはそのような年代なのでしょうが)。学習習慣の定着と基礎学力の向上が、ベネッセの学力推移調査のGTZ等にはっきりあらわれています。今春卒業した中学校3期生からは、国公立大へ4名の合格を出すことができました(うち1名は富山大薬学部)。中学校からの教育が高校の3年間で実を結び、高いレベルの進学者を多く輩出できるようになり、高校全体＝学校全体の質を向上させる牽引力になってきています。中高一貫体制のさらなる前進を図ります。

- ◆新5か年計画「未来創造プラン(H.S.)2017～2021

「隣人愛を基盤としたワンステップアップの私学へ」これが新プランのスローガンです。その一番の指標は進学実績の向上です。5年後の大学進学の数値目標を策定し、実現のために適切な教員配置を行うこと、教員の業務のスリム化をはかり学習指導に集中すること、部活動にけじめをもたせ家庭学習時間を確保することなどを掲げました。

また大きく変化する時代と教育に対応するべく、批判的な思考(クリティカル・シンキング)の訓練や能動的に学ぶ姿勢(アクティブラーニング)の育成、英語教育の改革、ICT活用の推進などを進めていきます。中学校には2018年度からグローバル・アカデミック・プログラムを設置します。これは英語力のある入学生を募集し、その生徒に対して英語の授業は別プログラム(ネイティブ教員による英語による授業)を組むものです。

新プランによる取り組みをすすめて、従来以上に地域から信頼され求められる学園へと成長し、建学の精神「隣人愛」に立ち、自ら学んで人生の目標を探求し、世界と人のために生きることを志向する生徒づくりをめざします。

（５）聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育んでいくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い＜命＞が守られながら、活き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。
- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関るあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| ＜愛＞ | 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にする気持ちをもつ。 |
| ＜思いやり＞ | 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。 |
| ＜たくましさ＞ | 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。 |
| ＜いのち＞ | 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。 |
| ＜表現力＞ | 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。 |
| ＜自立＞ | 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。 |

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ③ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 聖隷クリストファー大学、介護福祉専門学校

◆ 学生募集の推移

(*) 入学定員は2017年度の人数

		入学 定員 (*)	2017年度入学		2016年度入学		2015年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
大 学 院	看護学研究科	15	16	14	13	11	9	7
	博士前期課程	10	10	10	6	5	4	3
	博士後期課程	5	6	4	7	6	5	4
	社会福祉学研究科	13	8	7	3	3	5	5
	博士前期課程	10	3	3	1	1	3	3
	博士後期課程	3	5	4	2	2	2	2
	リハビリテーション科学研究科	15	15	13	16	16	11	10
	博士前期課程	10	13	11	10	10	9	8
	博士後期課程	5	2	2	6	6	2	2
	大学院合計	43	39	34	32	30	25	22
大 学	看護学部	150	621	156	608	156	611	161
	看護学科	150	621	156	608	156	609	160
	編入学	—	(募集停止)		(募集停止)		2	1
	助産学専攻科	15	32	17	35	17	27	17
	社会福祉学部	120	196	87	156	76	231	85
	社会福祉学科	40	90	34	81	36	92	31
	編入学	5	4	3	3	1	4	3
	介護福祉学科	25	26	11	9	4	40	12
	編入学	10	0	0	0	0	—	—
	こども教育福祉学科	40	76	39	63	35	95	39
	リハビリテーション学部	95	618	107	436	106	529	108
	理学療法学科	40	350	45	227	45	276	39
	作業療法学科	30	161	33	137	34	161	35
	言語聴覚学科	25	107	29	72	27	92	34
	大学合計	380	1,467	367	1,235	355	1,398	371
総 合 計		423	1,506	401	1,267	385	1,423	393

	入学 定員	2017年度入学		2016年度入学	
		志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校	40	29	26	25	22

◆ 国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2016年度		2015年度		2014年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	96.5%	97.3%	97.6%	99.4%	96.9%	96.9%
保健師	大学	95.4%	100.0%	93.9%	93.8%	99.6%	100.0%
助産師	専攻科	93.2%	100.0%	99.8%	100.0%	99.9%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2016年度		2015年度		2014年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	46.3%	34.7%	47.0%	44.9%	45.4%	40.8%
精神保健福祉士	71.7%	69.2%	74.1%	100.0%	71.8%	80.0%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2016年度		2015年度		2014年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	97.5%	100.0%	87.0%	97.4%	91.5%	97.1%
作業療法士	92.1%	100.0%	95.0%	100.0%	87.6%	96.7%
言語聴覚士	92.1%	90.9%	86.9%	90.0%	87.0%	68.8%

◆ 卒業生・修了生の進路状況

2016年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

(単位：人)

卒業生数	148	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	136	看護師	126	94	32
		保健師	8	6	2
		養護教諭	1	1	0
		一般企業	1	0	0
進学者数	7				
その他 (*1)	5				

(*1)「その他」は就職を希望しない者5名です。

＜聖隷関連施設への就職＞ 合計83名（就職者の61.0%）

聖隷三方原病院…21名、聖隷浜松病院…49名、聖隷横浜病院…7名、聖隷佐倉市民病院…1名
袋井市立聖隷袋井市民病院…2名、聖隷沼津病院…1名、聖隷保健事業部…2名

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	17	助産師	17	11	6

＜聖隷関連施設への就職＞ 合計6名（就職者の35.3%）

聖隷三方原病院…3名、聖隷浜松病院…3名

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	50（社36/介14）	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	48（社34/介14）	福祉施設 (*1)	21/14	19/11	2/ 3
		医療機関	5/ 0	5/ 0	0/ 0
		公務員	5/ 0	5/ 0	0/ 0
		一般企業	3/ 0	3/ 0	0/ 0
進学者数	0（社 0/介 0）				
その他 (*2)	2（社 2/介 0）				

(*1) 聖隷福祉事業団への就職者は「福祉施設」に計上しました。

(*2)「その他」は就職を希望しない者2名です。

＜聖隷関連施設への就職＞ 合計14名（就職者の29.2%）

聖隷福祉事業団…13名、聖隷横浜病院…1名

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	46	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数 (*1)	46	公立幼稚園・保育園	6	6	0
		私立幼稚園	2	2	0
		こども園	3	3	0
		民間保育園	14	14	0
		社会福祉施設	18	18	0
		公務員	1	1	0
		一般企業	2	2	0

(*1) 聖隷福祉事業団（保育士）への就職者は、こども園3名、民間保育園5名と計上しました。

＜聖隷関連施設への就職＞ 合計8名（就職者の17.4%）

聖隷福祉事業団…8名

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	87	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	85	理学療法士	32	23	9
		作業療法士	32	17	15
		言語聴覚士	19	10	9
		一般企業	2	1	1
その他 (*1)	2				

(*1)「その他」は就職活動中1名、就職を希望しない者1名です。

＜聖隷関連施設への就職＞ 合計17名（就職者の20.0%）

聖隷福祉事業団…17名

◆就職支援(大学)

2016 年度就職支援プログラム

主な就職支援プログラム			
4 月	春セメスター進路ガイダンス 【看・助】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看・助】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】施設説明会 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	10 月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団）
5 月	【看】進路ガイダンス 【看】保健師ガイダンス	11 月	【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】4 年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【こ】卒業生との懇談会 【社・介・こ】4 年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【こ】4 年次生による就職活動報告会 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座
6 月	公務員対策講座説明会 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	12 月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団）
7 月	【看】進路ガイダンス	1 月	【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】4 年次生による就職活動報告会
8 月	公務員試験対策講座 【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（静岡近隣県） 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係） 【PT・OT・ST】メイクアップ講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座	2 月	【看】卒業生と在学生との懇談会 【社・介・こ】履歴書の書き方・面接の受け方講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】メイクアップ講座 【OT・ST】専門職者による就職講演会 【OT・ST】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【ST】4 年次生による就職活動報告会
9 月	公務員試験対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】進路ガイダンス 【PT】【OT】【ST】進路ガイダンス	3 月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】就職マナー・面接対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【PT】専門職者による就職講演会 【PT】就職先研究（聖隷福祉事業団）

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

◆就職支援(専門学校)

2016 年度就職支援プログラム

主な就職支援プログラム			
4 月	春セメスター進路ガイダンス	10 月	メイクアップ講座
5 月	社会人になるための基礎講座 就活マナー講座	11 月	履歴書の書き方・面接の受け方講座
6 月	スーツ着こなし講座	12 月	
7 月		1 月	
8 月		2 月	
9 月	進路ガイダンス	3 月	進路ガイダンス 聖隷福祉事業団採用試験説明会 聖隷福祉事業団施設見学会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆2016 年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護協会	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	合計	
				合計	一種	二種				貸与人数	受給割合
1 年次生	2		38	61	33	28	0			101	64.7%
2 年次生	0	0	49	64	26	38	1			114	71.2%
3 年次生	1	1	50	52	19	33	0	2	0	106	67.9%
4 年次生	2	0	85	56	28	28	0	0	1	144	90.0%
合計	5	1	222	233	106	127	1	2	1	465	73.9%

○助産学専攻科

学年	菅野・ 太田・ 長谷川 奨学会	聖隷奨 学会	日本学生支援機構			静岡 県看 護職 特別	静岡 県看 護協 会	合計	
			合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1 年次生	0	6	3	1	2	0	0	9	52.9%

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県介護福祉士	静岡県保育士	浜松市奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	合計	
				合計	一種	二種						貸与人数	受給割合
1 年次生	1		0	20	7	13	1	1	0		0	23	30.6%
2 年次生	1	0	1	27	11	16	5	0	0		0	34	41.4%
3 年次生	0	0	2	37	16	21	1	1	1	0	1	43	41.3%
4 年次生	1	0	0	23	6	17	0	1	0	1	0	26	26.2%
合計	3	0	3	107	40	67	7	3	1	1	1	126	35.0%

○リハビリテーション学部

学年	菅野・ 太田・ 長谷川 奨学会	大学同 窓会・後 援会奨 学金	聖隷 奨学 会	日本学生支援機構			浜松 市奨 学金	廣田 育英 会	合計	
				合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1 年次生	1		3	48	19	29	1	0	53	50.0%
2 年次生	1	1	3	39	12	27	0	1	45	41.6%
3 年次生	0	2	0	37	13	24	0	0	39	39.7%
4 年次生	1	0	1	33	10	23	0	0	35	38.4. %
合計	3	3	7	157	54	103	1	1	172	42.6%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護 職員修学資金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1 年次生	1	1	0	2	3	18.7%
2 年次生	3	1	2	0	3	13.6%
合計	4	2	2	2	6	15.8%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構		合計	貸与人数	受給割合
	合計	一種	二種		
1 年次生	0	0	0	0	－
2 年次生	0	0	0	0	－
3 年次生	0	0	0	0	－
合計	0	0	0	0	－

○介護福祉専門学校

学年	菅野・ 太田・ 長谷川 奨学会	日本学生支援機構			静岡県介 護福祉士 修学資金	聖隷介護 奨学金	クリスト ファー介 護福祉士 奨学金	天竜厚生 会介護福 祉士奨学 金	合計	
		合計	一種	二種					貸与人数	受給割合
1 年次生	1	0	0	0	2	13	0	1	17	77.2%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2017 年 2 月時点データ

※聖隷奨学会は聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆国際交流

2016 年度の本学の交流協定締結校は、サミュエルメリット大学（米国）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、第三軍医大学（中国）の 3 校に加えて、2016 年 9 月に新たにカトリックサンジ大学（韓国）と大学間交流協定締結の調印式を行い、計 4 校となりました。

また、2017 年 2 月、ナンヤン理工学院の理学療法学科・作業療法学科の移行先であるシンガポール工科大学（SIT）へ本学リハビリテーション学部長を中心とする訪問団を派遣し、今後大学間交流協定締結に向けて準備を進めていくことを相互で確認しました。

2016 年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入れプログラムを実施しました。

また、研究者派遣については、サミュエルメリット大学へ看護学部教員 1 名、リハビリテーション学部教員 1 名の計 2 名を派遣しました。

外国人研究者の受入れについては、サミュエルメリット大学より看護学部教員 1 名、第三軍医大学より看護教員 1 名、第三軍医大学第一附属病院（西南医院）より看護師 1 名、ナンヤン理工学院より看護学部教員 1 名を受入れました。

【学生派遣】

プログラム		期間	対象	受入機関	参加学生	引率/巡回
研修	シンガポール研修	9日間	全学部 全学年	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護2年7名 看護1年3名 PT3年1名 PT1年5名 OT2年2名 OT1年4名 こども2年1名 計23名	教職員2名
	中国研修	9日間	全学部 全学年	第三軍医大学 (中国)	看護1年3名 OT1年3名 計6名	教員1名
	アメリカ看護研修	11日間	看護学部 2・3年次生	サミュエルメリット大学 (米国)	看護2年10名 計10名	教員2名
	アメリカ言語聴覚 学研修	9日間	リハビリテーション学部 言語聴覚学科生	ハワイ大学マノア校 (米国)	ST1年5名 ST2年2名 計7名	教員1名
	海外英語研修 (個人参加)	3週間	全学部 全学年	University of Auckland English Language Academy (ニュージーランド)	看護1年1名 計1名	—
実習	国際看護実習	2週間	看護学部 4年次生	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護4年2名 計2名	教員1名
	国際理学療法実習	9日間	リハビリテーション学部 理学療法学科生	第三軍医大学 (中国)	PT3年1名 PT2年1名 計2名	教員1名

【学生受入れ】

プログラム		期間	対象	研修・実習先	参加者
研修	Samuel Merritt University Study Visit	9日間	サミュエルメリッ ト大学 看護学部生	聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育 センター、聖隷ホスピス、和合せい れいの里、訪問看護ステーション(住 吉、三方原、細江)、聖隷デイサービス センター(住吉、三方原)、聖隷浜松病 院	10名 教職員3名
	Texas A&M International University Study Visit	1日間	Texas A&M International University 言語聴覚学科生	聖隷三方原病院、十字の園	5名 教員2名
	Nanyang Polytechnic Study Visit	8日間	ナンヤン理工学院 看護学科生、 理学療法学科生、 作業療法学科生、 社会福祉学科生	十字の園、ゆうゆうの里、根洗学 園、聖隷三方原病院、聖隷おおぞ ら療育センター、聖隷ホスピス、 浜松市リハビリテーション病院、 ワークセンター大きな木	看護学科生12名 OT学科生12名 教員2名
実習	Nanyang Polytechnic Nursing Overseas Clinical Attachment Program	4週間	ナンヤン理工学院 看護学科生	聖隷三方原病院、浜名湖エデンの 園、聖隷浜松病院	2名
	Nanyang Polytechnic Occupational Therapy Overseas Clinical Attachment Program	2週間	ナンヤン理工学院 作業療法学科生	聖隷三方原病院、デイサービスセン ターみをつくし、ワークセンター大 きな木、ワークセンターふたば	2名

(2) 聖隷クリストファー高等学校

◆ 生徒募集の推移

高校

(単位:人)

	入学定員	2017年度入学者 (2016年度募集)		2016年度入学者 (2015年度募集)		2015年度入学者 (2014年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,067	253	1,341	314	1,151	270

※中学校からの内進生を含みます。

◆ 卒業生の進路状況

高校卒業生の内訳

(単位:人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	未定	合計
男子	95	1	22	8	10	0	2	138
女子	87	12	57	3	19	0	3	181
合計	182	13	79	11	29	0	5	319
比率	57.1%	4.1%	24.8%	3.4%	9.1%	0.0%	1.6%	100.0%

大学合格実績

《国公立大学 24名》 浜松医大(看護)3名、静岡大3名、北見工業大2名、茨城大1名、富山大(薬)1名、山口大1名、静岡文化芸術大3名、横浜市立大1名、釧路公立大3名、前橋工科大1名、公立鳥取環境大1名、尾道市立大1名

《私立大学 307名》 国際基督教大1名、早稲田大1名、明治大1名、青山学院大1名、中央大3名、法政大2名、関西学院大3名、立命館3名、日本大4名、駒澤大2名、東海大1名、亜細亜大2名、帝京大1名、国土館大1名、明治学院大3名、昭和女子1名、津田塾大1名、日本女子大2名、愛知大1名、名城大4名 他

就職実績

《就職内定者 30名》 静岡県警察2名、航空自衛隊2名、スズキ2名、テイボー2名、ヤマハ発動機1名、朝日電装1名、アスモ1名、遠州鉄道1名、浜松十字の園1名、他

◆ 国際交流

高校		
派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム(3か月)	アメリカへ5名	
本校から私費留学	フィリピンへ1名	なし
県教委主催海外体験促進事業(語学研修)	アメリカへ1名	
受入れ留学生	なし	2015年9月～2016年6月 アメリカから1名 2016年9月～2017年3月 イタリアから1名 2016年9月～現在 ポルトガルから1名、 スペインから1名

◆ 部活動の主な実績

高校・中学	
部活動名	2 0 1 6 年 度 主 な 実 績
男子 バレーボール部	第64回静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 西部地区予選 準優勝 第64回静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 県大会 8位 静岡県高校総体西部予選 準優勝 静岡県高校総体県大会 ベスト8 第35回静岡県高等学校バレーボール選手権 西部大会 優勝 第35回静岡県高等学校バレーボール選手権 県大会 準優勝 第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会 ベスト8
男子 サッカー部	平成28年度 静岡県高校総体サッカー競技 西部地区大会 4位 県大会進出 第95回高校選手権静岡県大会 ベスト16 高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2017静岡スルガカップ Aリーグ昇格
野 球	第63回春季東海地区高等学校野球西部地区大会 5位 県大会進出 第63回春季東海地区高等学校野球県大会 ベスト16 第69回秋季東海地区高等学校野球西部地区大会 5位 県大会進出 第69回秋季東海地区高等学校野球県大会 優勝 第69回秋季東海地区高等学校野球大会 出場
女子 ソフトボール部	平成28年度 静岡県高等学校総合体育大会 西部地区大会 4位 平成28年度 静岡県高等学校総合体育大会 県大会 ベスト8 静岡県高校総体 ベスト8 静岡県選手権大会 ベスト8 第50回静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会西部地区予選 準優勝 第50回静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会 県大会 ベスト8
少林寺拳法部	平成28年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会 (団体演武) 女子3位 (組演武) 女子4位 2016年少林寺拳法全国大会inおおいた 女子単演級拳士の部 3位 平成28年度静岡県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技 男子自由単独演武 2位 男子規定単独演武 1位・2位 男子自由組演武 1位・2位 男子規定組演武 1位・2位 男子団体演武 1位 女子自由単独演武 1位・2位 女子規定単独演武 2位 女子自由組演武 1位・2位 女子団体演武 1位 第20回高校生少林寺拳法全国選抜大会 男子規定組演武 6位入賞 女子団体演武 5位入賞

高校・中学	
吹奏楽部	第57回静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会（B編成） 金賞 第57回静岡県吹奏楽コンクール県大会（B編成） 銀賞 第22回日本管楽合奏コンテスト 優秀賞 第18回中部日本重奏コンテスト バリチューバ三重奏 銅賞 第18回中部日本個人コンテスト県大会 クラリネット 銀賞 トロンボーン 銅賞
放送部	第63回NHK杯高校放送コンテスト西部地区大会 テレビドキュメント部門 2位 創作テレビドラマ部門 佳作 アナウンス部門 3位 第63回NHK杯高校放送コンテスト県大会 テレビドキュメント部門 佳作 創作テレビドラマ部門 7位 第38回静岡県高等学校放送新人コンクール アナウンス部門 入選 アナウンス部門 佳作 朗読部門 入選 ビデオメッセージ部門 3位 北信越大会出場 第46回高等学校ラジオ作品コンクール 優秀賞(2位) 第1回聖書動画コンテスト2016 最優秀賞
かるた	第4回奥の細道結びの地全国競技かるた大会E級の部 優勝 第50回全国競技かるた静岡大会E級の部 3位 第17回静岡県小中学生かるた大会 中学生ペアの部 3位
書道	第33回ふれあい書道展 特選 2名、奨励賞 16名、敢闘賞 3名 第17回高校生国際美術展 佳作1名 第15回岐阜女子大学全国書道展 奨励賞 1名、特賞 1名、優秀賞 7名、 秀作賞 6名、努力賞 6名 日本書道専門学校主催第38回千字文大会 高校漢字半紙の部 特選 2名、優秀 1名、秀作 5名、佳作 6名 中学半紙の部 優秀 2名、優秀 2名、佳作 1名 第35回富士山学生書写書道展 県教育研究会会長賞 1名 審査委員長賞 1名 奨励賞 1名 第58回大東文化大学全国書道展 条幅の部 金賞 3名、銀賞 5名、銅賞 4名 半紙の部 銀賞 3名、銅賞 2名 平成28年度静岡県高等学校総合文化祭 団体の部 出品 日本書写教育研究会主催 第60回全国書き初め作品展覧会 高等学校の部 全日本芸術振興学会賞 1名 中学校の部 研究会賞 1名 第40回蘇峰会静岡県書道展 優秀賞 1名

(3) 聖隷クリストファー中学校

◆ 生徒募集の推移

中学

	入学定員	2017年度入学者 (2016年度募集)		2016年度入学者 (2015年度募集)		2015年度入学者 (2014年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	73	45	75	50	63	44

◆ 国際交流

中学		
派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	フィリピンへ1名	なし

(4) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 1日(金)	保育開始
7日(木)	1学期始園日
9日(土)	入園式(48名入園)
20日(水)	イースター礼拝・誕生会
21日(木)	視力検査(5歳児)
22日(金)	移動環境教室[浜松市主催](5歳児)
23日(土)	理事長講話、こども園保護者会総会、クラス懇談会
26日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
27日(水)	
5月 10日(火)	ホンダ訪問サッカースクール(5歳児)
11日(水)	母の日礼拝・誕生会
16日(月)	健康診断
17日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
18日(水)	
19日(木)	視力検査(4歳児)
21日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)
23日(月)	園外保育(4歳児) フラワーパーク
24日(火)	
26日(木)	園外保育 ジョン・カミツカ氏 コンサート(5歳児)
31日(火)	オープン保育デー(5歳児)
6月 1日(水)	
2日(木)	オープン保育デー(4歳児)
3日(金)	
9日(木)	歯科検診、尿検査
15日(水)	花の日礼拝・誕生会
16日(木)	花の日施設訪問
21日(火)	プール開き
21日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
22日(水)	
28日(火)	オープン保育デー(3歳児)
29日(水)	
30日(木)	
7月 6日(水)	月礼拝・誕生会
12日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
13日(水)	
15日(金)	1学期終園日
16日(土)	サマーフェスタ
22日(金)	5歳児お泊り保育(かわな野外活動センター)
23日(土)	
8月 1日(月)	小学1年生 同窓会
30日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
31日(水)	
9月 1日(木)	2学期始園日、防災引渡訓練
2日(金)	プール納め
7日(水)	月礼拝・誕生会
15日(木)	聖隷クリストファー中・高等学校体育大会へ参加(5歳児)
26日(月)	健康診断
10月 6日(木)	アフリカ幼児教育者見学受け入れ
8日(土)	ブレイダー(運動会、3.4.5歳児) 於:中高ソフトボール場

日付	内容
10月 12日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
14日(金)	
18日(火)	園外保育(3-5歳児) 浜松市動物園
19日(水)	月礼拝・誕生会
21日(金)	歯磨き指導教室(5歳児)
29日(土)	ブレイダー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
11月 2日(水)	保護者対象食育講座[静岡県主催]
9日(水)	収穫感謝礼拝
10日(木)	収穫感謝訪問(浜名湖エッセイ園、アトナリ館他訪問) アジア学院との交流(5歳児)
11日(金)	野外パーティー
12日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会
26日(土)	入園・進級オリエンテーション(次年度3歳入園・進級者対象)
12月 2日(金)	保護者会クリスマス
10日(土)	クリスマスのつどい(4.5歳児)
14日(水)	クリスマスパーティー
16日(金)	2学期終園日
17日(土)	クリスマスのつどい(0.1.2.3歳児)
22日(木)	大掃除
1月 6日(金)	3学期始園日
10日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
11日(水)	
18日(水)	月礼拝・誕生会
19日(木)	ジュビロ訪問サッカー教室
20日(金)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
28日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)[保護者会主催]
24日(火)	オープン保育デー(5歳児)
25日(水)	
26日(木)	オープン保育デー(4歳児)
27日(金)	
30日(月)	土ねん土体験(浜松こども館)(4歳児)
2月 31日(火)	
1日(水)	オープン保育デー(3歳児)
2日(木)	
3日(金)	節分パーティー
7日(火)	交通安全教室(4.5歳児)
9日(木)	浜松市私立幼稚園協会 教育研究大会会場
15日(水)	月礼拝・誕生会
16日(木)	気賀小学校1年生を迎える会
25日(土)	クラス懇談会、保護者会役員会
28日(火)	園外保育(4歳児) 里山体験
3月 1日(水)	
2日(木)	卒園遠足(5歳児) 豊橋市:のんほいパーク
3日(金)	ひなまつりパーティー
8日(水)	月礼拝・誕生会
10日(金)	年長お別れ会、お別れパーティー
16日(木)	卒園礼拝、植樹式
17日(金)	3学期終園日
18日(土)	卒園式(62名卒園)

3 施設等の状況（2017年3月31日現在）

（1）現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘 要
静岡県浜松市北区三方原町3453	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学、専門学校キャンパス
	70,269 m ²	2,137,418 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
静岡県浜松市北区三方原町2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園（園舎・園庭）
合 計	116,372 m ²	2,642,820 千円	

校舎等

所在地	施設等（建物名称）	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区三方原町3453	聖隷クリストファー大学（1号館）	9,068 m ²	2,316,116 千円	1,028,974 千円
	〃 （2号館）	4,026 m ²	693,808 千円	394,089 千円
	〃 （3号館）	4,727 m ²	887,681 千円	543,896 千円
	〃 （4号館）	1,199 m ²	194,260 千円	69,123 千円
	〃 （旧5号館旧棟）	2,623 m ²	305,909 千円	88,748 千円
	〃 （5号館）	5,134 m ²	948,396 千円	841,080 千円
	〃 （機械室）	11 m ²	1,124 千円	415 千円
	〃 （学生・同窓会館）	964 m ²	155,433 千円	57,458 千円
	〃 （キリスト教センター）	78 m ²	19,749 千円	9,337 千円
	〃 （第一体育館）	781 m ²	237,883 千円	128,702 千円
	〃 （第二体育館）	495 m ²	46,702 千円	19,651 千円
	〃 （第一テニスクラブハウス）	35 m ²	10,754 千円	1,668 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,141 m ²	5,817,814 千円	3,183,141 千円
静岡県浜松市北区三方原町3453	専門学校棟	574 m ²	159,408 千円	117,741 千円
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	159,408 千円	117,741 千円
静岡県浜松市北区三方原町3453	聖隷クリストファー中・高等学校（校舎）	8,706 m ²	1,614,289 千円	1,074,731 千円
	〃 （体育館）	4,369 m ²	764,276 千円	504,020 千円
	〃 （総合運動場クラブハウス）	176 m ²	34,011 千円	18,626 千円
	〃 （第二テニスクラブハウス）	106 m ²	17,379 千円	11,001 千円
	〃 （サッカー場クラブハウス）	193 m ²	36,003 千円	14,580 千円
	〃 （野球部部室）	62 m ²	20,855 千円	10,925 千円
	〃 （ガス整圧室、ポンプ室）	15 m ²	29,800 千円	10,571 千円
	〃 （ソフトボール場倉庫）	65 m ²	1,614 千円	858 千円
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		13,692 m ²	2,518,226 千円	1,645,311 千円
静岡県浜松市北区三方原町2762	こども園園舎	2,139 m ²	502,093 千円	414,655 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	502,093 千円	414,655 千円
総 合 計		44,971 m ²	8,997,541 千円	5,360,849 千円

（2）主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

中・高等学校セミナーハウス棟建築工事を行いました。

4 その他

特に記載すべき事項はありません。

3 財務の概要

1 決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の 68.4%は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短 3 年での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

(単位: 百万円)

資産の部合計	14,121	負債の部合計	4,456
(主な内容)		(主な内容)	
		(借入金	2,107)
		(前受金	1,542)
		自己資金	9,665
(現金預金	4,626)		
(土地	2,643)		
(建物	5,362)		

【有利子負債返済可能年数】

$$\frac{\text{借入金 } 2,107 \text{ 百万円}}{\text{学校運営にかかる } 701 \text{ 百万円}} = 3.00 \text{ 年}$$

(2) 収支計算書の状況

資金収支計算書、活動区分資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015 年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。

下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2016 年度は教育研究活動により発生した資金は 7 億 200 万円でした。施設・設備投資にはセミナーハウス棟建築工事を含め 3 億 2700 万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が 2 億 9600 万円増加しました。現状、経営実績は安定して推移しているといえます。

(単位: 百万円)

I 教育研究活動による資金収支	702
II 施設等整備活動による資金収支	△ 386
III その他の活動による資金収支	△ 20
支払資金増加額(I + II + III)	296
前年度繰越支払資金	4,329
翌年度繰越支払資金	4,625

①活動区分資金収支計算書

(単位：円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,628,743,000
		手数料収入	57,895,830
		特別寄付金収入	49,397,841
		一般寄付金収入	2,912,846
		經常費等補助金収入	811,503,454
		付随事業収入	11,367,250
		雑収入	66,208,504
		教育活動資金収入計	3,628,028,725
	支出	人件費支出	2,230,470,547
		教育研究経費支出	485,915,140
		管理経費支出	244,688,826
		教育活動資金支出計	2,961,074,513
		差引	666,954,212
		調整勘定等	34,736,287
		教育活動資金収支差額	701,690,499
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	216,328
		施設設備売却収入	2,863,000
		施設整備等活動資金収入計	3,079,328
	支出	施設関係支出	251,823,953
		設備関係支出	75,800,362
		施設整備等活動資金支出計	327,624,315
		差引	△ 324,544,987
		調整勘定等	△ 61,198,585
		施設整備等活動資金収支差額	△ 385,743,572
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			315,946,927

一

二

(単位：円)

科 目		金 額
その他の活動による資金収支	借入金等収入	170,000,000
	みなし退職引当特定資産取崩収入	275,000
	奨学貸付金回収収入	12,166,100
	小計	182,441,100
	受取利息・配当金収入	1,355,256
	その他の活動資金収入計	183,796,356
	借入金等返済支出	154,340,000
	預り金支払支出	795,821
	立替金支出	4,413,094
	預託金支出	113,940
	奨学貸付金支払支出	8,650,000
	小計	168,312,855
	借入金等利息支出	34,414,285
	過年度修正支出	1,110,456
	その他の活動資金支出計	203,837,596
	差引	△ 20,041,240
	調整勘定等	296,750
	その他の活動資金収支差額	△ 19,744,490
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		296,202,437
前年度繰越支払資金		4,329,499,476
翌年度繰越支払資金		4,625,701,913

目

②事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は2億9282万円のプラスとなりました。この収支差額は2016年度第一次補正額よりも2億860万円改善しています。

(単位:千円)

科 目		法人	大学	高校	中学	こども園	専門	合計
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,086,725	398,635	72,516	50,008	21,560	2,629,443
	手数料(入学検定料含む)	0	40,933	15,252	1,125	0	587	57,896
	寄付金	800	14,775	31,266	5,469	0	0	52,311
	補助金	0	287,482	313,198	52,568	158,235	21	811,503
	付随事業・雑収入等	1,306	57,640	1,593	2,662	14,080	294	77,576
	教育活動外収入(受取利息等)	0	933	286	50	79	8	1,355
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	6,648	4,270	430	696	0	12,043
合 計		2,106	2,495,135	764,499	134,820	223,098	22,469	3,642,127
事業活動支出	人件費	53,528	1,489,563	410,915	86,013	131,151	47,610	2,218,779
	教育研究経費	0	521,318	189,296	20,244	52,651	11,646	795,156
	(うち減価償却額)	0	186,053	92,645	3,107	23,186	4,250	309,241
	管理経費	50,760	123,818	66,018	18,631	9,413	5,171	273,810
	(うち減価償却額)	13,851	2,454	684	94	651	42	17,777
	徴収不能額等	0	788	0	0	0	0	788
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	10,673	23,742	0	0	0	34,414
	特別支出(資産処分差額等)	2,450	22,934	899	47	30	0	26,361
合 計		106,737	2,169,094	690,870	124,933	193,246	64,427	3,349,307
事業活動収支差額		△ 104,631	326,041	73,629	9,886	29,852	△ 41,958	292,819

2 経年比較

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末
固定資産	10,073,933	9,737,756	9,527,116	9,417,957	9,408,802
流動資産	3,453,141	3,739,874	4,216,659	4,432,591	4,712,562
資産の部合計	13,527,074	13,477,631	13,743,776	13,850,549	14,121,365
固定負債	2,831,708	2,764,380	2,645,394	2,528,692	2,524,867
流動負債	2,049,111	1,910,957	1,967,774	1,949,559	1,931,381
負債の部合計	4,880,820	4,675,338	4,613,169	4,478,252	4,456,249
基本金	12,553,168	12,665,510	12,899,888	13,205,058	13,567,384
繰越収支差額	△ 3,906,914	△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,268
純資産の部合計	8,646,254	8,802,292	9,130,607	9,372,297	9,665,116
負債及び純資産の部合計	13,527,074	13,477,631	13,743,776	13,850,549	14,121,365

(2) 収支計算書

① 資金収支計算書

(単位: 千円)

収入の部	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
学生生徒等納付金収入	2,479,494	2,537,823	2,625,497	2,602,778	2,628,743
手数料収入	65,500	63,143	56,088	57,250	57,895
寄付金収入	35,544	56,852	63,188	49,814	52,527
補助金収入	726,389	728,665	741,375	737,951	814,366
資産売却収入	20	150	400	540	0
付随事業・収益事業収入	1,394	2,752	1,587	18,597	11,367
受取利息・配当金収入	1,153	1,182	1,819	1,633	1,355
雑収入	128,618	98,385	147,534	139,129	66,208
借入金等収入	786,000	0	0	0	170,000
前受金収入	1,432,629	1,541,465	1,514,396	1,513,973	1,541,909
その他の収入	92,386	115,944	112,307	150,638	91,896
資金収入調整勘定	△ 1,550,566	△ 1,516,114	△ 1,675,172	△ 1,593,851	△ 1,571,491
前年度繰越支払資金	3,015,124	3,319,442	3,621,059	4,048,149	4,329,499
収入の部合計	7,213,689	6,949,691	7,210,083	7,726,605	8,194,277

支出の部	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
人件費支出	2,138,095	2,103,824	2,234,222	2,260,817	2,230,470
教育研究経費支出	441,970	469,378	455,548	478,404	485,915
管理経費支出	199,424	196,366	228,736	238,581	245,799
借入金等利息支出	40,013	37,608	34,893	32,540	34,414
借入金等返済支出	125,120	126,150	116,150	144,860	154,340
施設関係支出	982,794	38,084	60,298	152,896	251,823
設備関係支出	191,617	127,311	59,648	71,846	75,800
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	190,601	425,525	188,559	225,535	212,531
資金支出調整勘定	△ 415,387	△ 195,614	△ 216,124	△ 208,375	△ 122,519
次年度繰越支払資金	3,319,442	3,621,059	4,048,149	4,329,499	4,625,701
支出の部合計	7,213,689	6,949,691	7,210,083	7,726,605	8,194,277

※2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

② 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目 \ 年度		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
事業活動収入	学生生徒等納付金	2,479,495	2,537,823	2,625,497	2,602,778	2,629,443
	手数料	65,500	63,144	56,089	57,250	57,896
	寄付金	41,564	60,308	69,135	48,907	52,311
	経常費等補助金	726,389	728,665	741,375	737,952	811,503
	付随事業収入	1,395	2,753	1,587	18,598	11,367
	雑収入	128,618	98,391	147,535	139,136	66,209
	教育活動外収入(受取利息等)	1,153	1,182	1,820	1,633	1,355
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)				9,582	9,582
	その他特別収入	21	150	400	540	0
合計		3,444,135	3,492,415	3,643,438	3,616,376	3,642,127
科目 \ 年度		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
事業活動支出	人件費	2,165,886	2,128,329	2,262,894	2,264,545	2,218,779
	教育研究経費	740,902	772,630	746,666	781,828	795,156
	管理経費	229,590	234,076	270,670	266,724	273,810
	徴収不能額等	0	0	0	0	788
	教育活動外支出(借入金利息等)	40,013	37,609	34,894	32,540	34,414
	特別支出(資産処分差額等)	7,983	163,733	0	6,278	3,704
	その他特別支出	0	0	0	22,771	22,657
合計		3,184,374	3,336,377	3,315,124	3,374,686	3,349,308
基本金組入前当年度収支差額		259,761	156,038	328,314	241,690	292,819
基本金組入額合計		△ 296,908	△ 112,341	△ 234,379	△ 305,170	△ 363,100
当年度収支差額		△ 37,147	43,697	93,936	△ 63,480	△ 70,281
前年度繰越収支差額		△ 3,869,767	△ 3,906,914	△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761
基本金取崩額		0	0	0	0	774
翌年度繰越収支差額		△ 3,906,914	△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269
事業活動収支差額		259,761	156,038	328,314	241,690	292,819

※2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

3 主な財務比率比較

＜学校法人全体の主要財務指標の内容＞

ここでは主に下記の指標を用いて 2016 年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。2015 年度からは学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も変更となっています。

①収容定員充足率 = 学生現員 ÷ 収容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

②経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

※2014 年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

③流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合を表したもので、150～200%が理想的です。

④運用資産余裕比率 = (運用資産*1 - 外部負債*2) ÷ 事業活動支出 …法人全体のみ

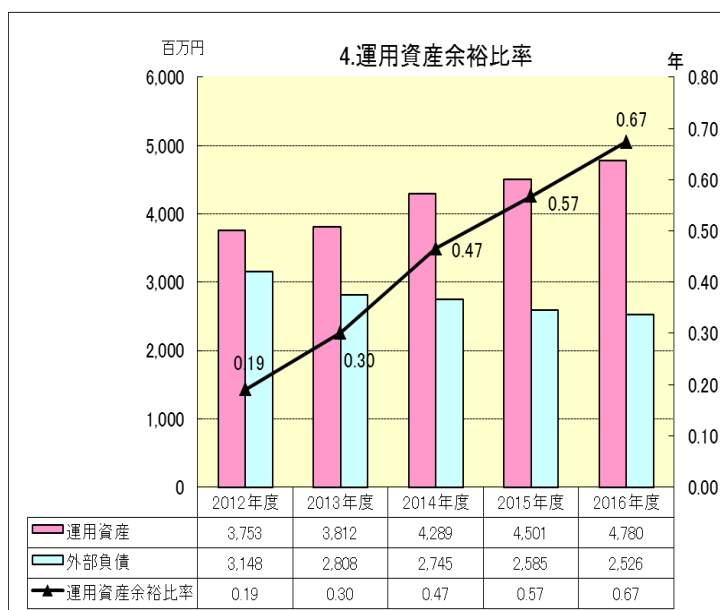
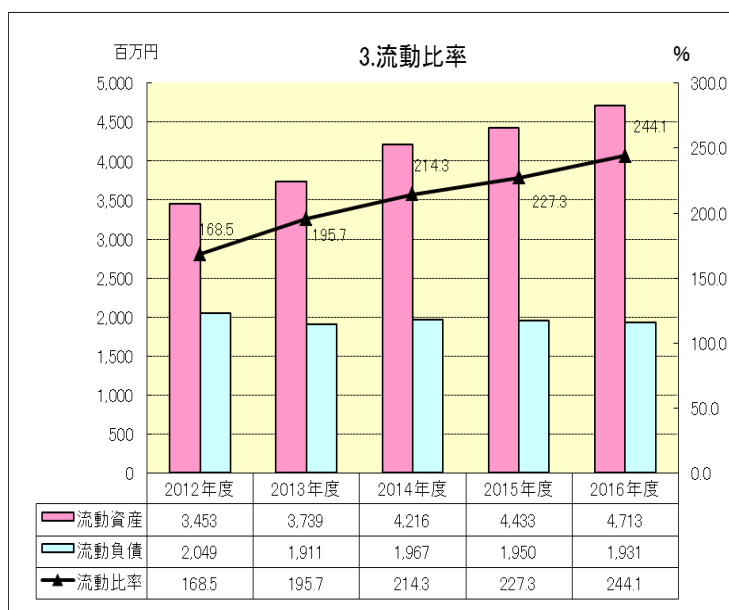
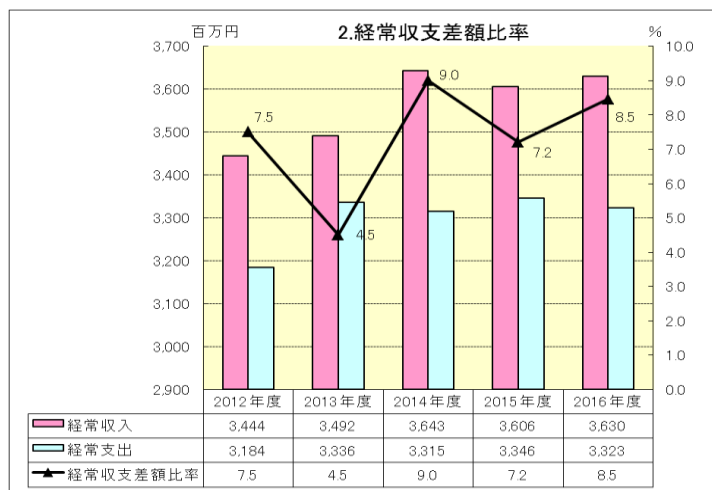
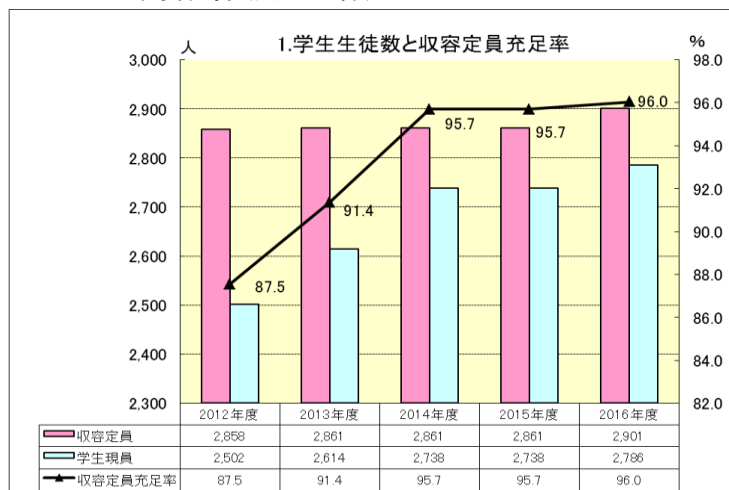
*1 運用資産=その他固定資産+流動資産 *2 外部負債=総負債-退職給与引当金-前受金

実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2016 年度は学生・生徒・園児数が 70 名増加し、収容定員充足率は 96.0%となりました。経常収支差額比率は 8.5%、流動比率は 244.0%、運用資産余裕比率は 0.67 年となっております。

2016 年度決算(法人全体)



◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

①収容定員充足率 $=$ 学生(生徒・園児)現員 $\div$ 収容定員

②人件費比率 $=$ 人件費 $\div$ 経常収入
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。

※2014年度以前は「人件費÷帰属収入」で算出した比率となっています。

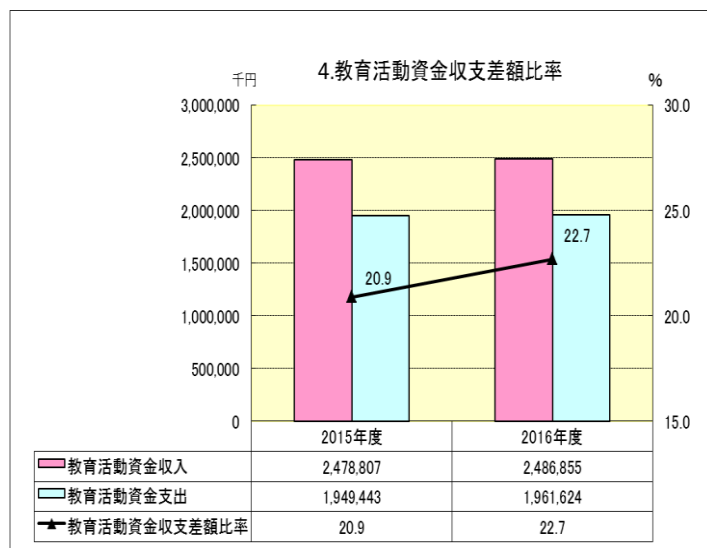
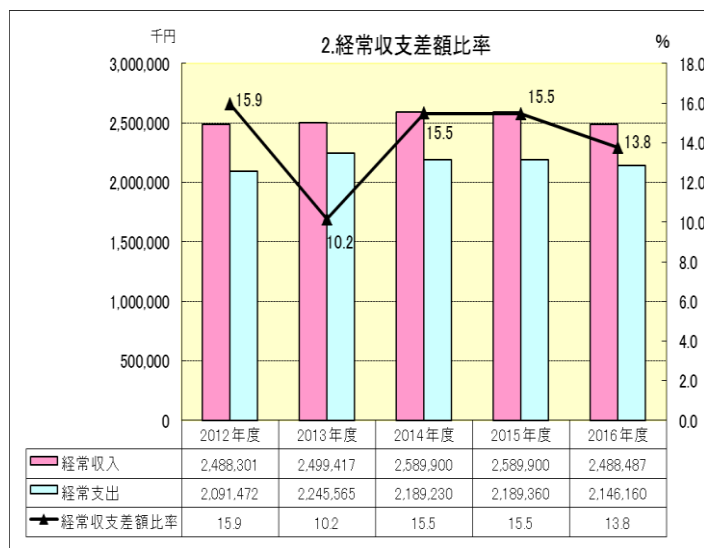
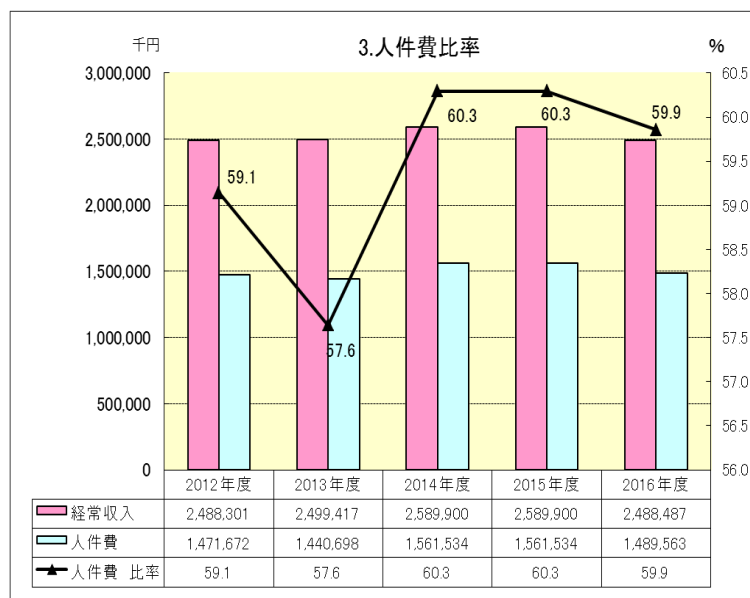
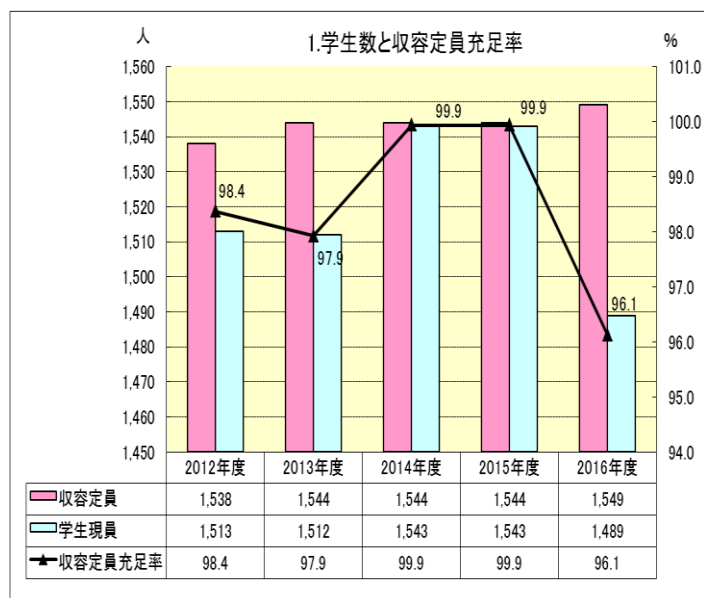
③経常収支差額比率 $=$ 経常収支差額 $\div$ 経常収入

※2014年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

④教育活動資金収支差額比率 $=$ 教育活動資金収支差額 $\div$ 教育活動資金収入計
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです。

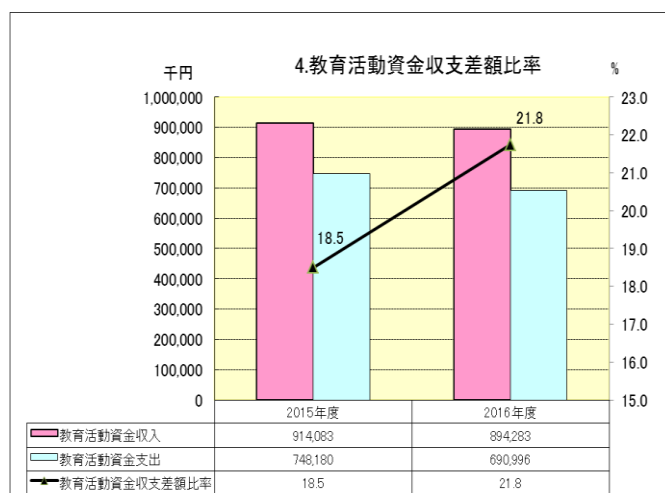
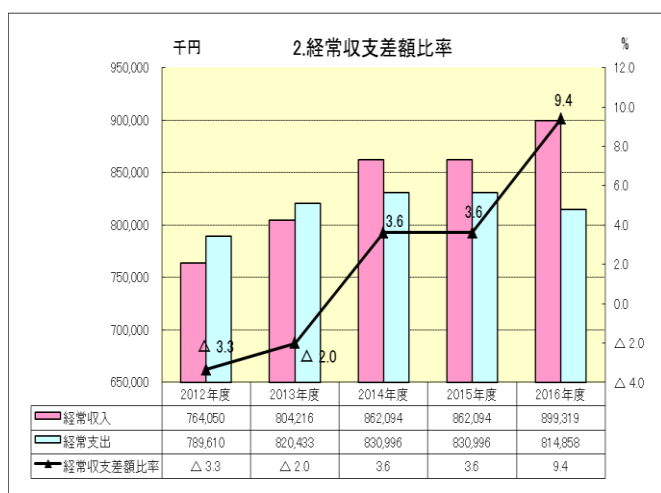
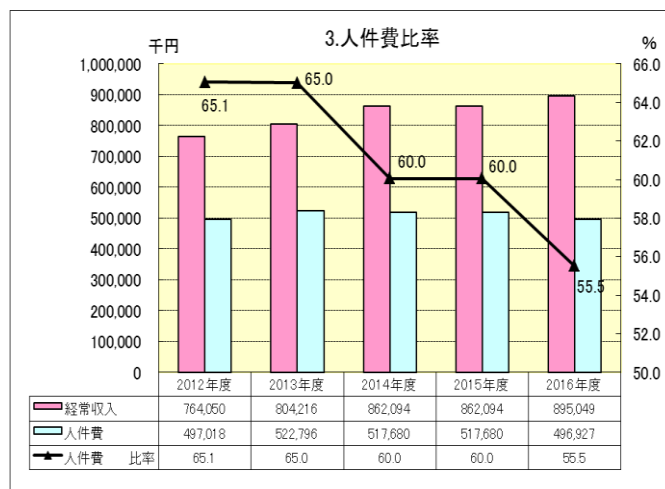
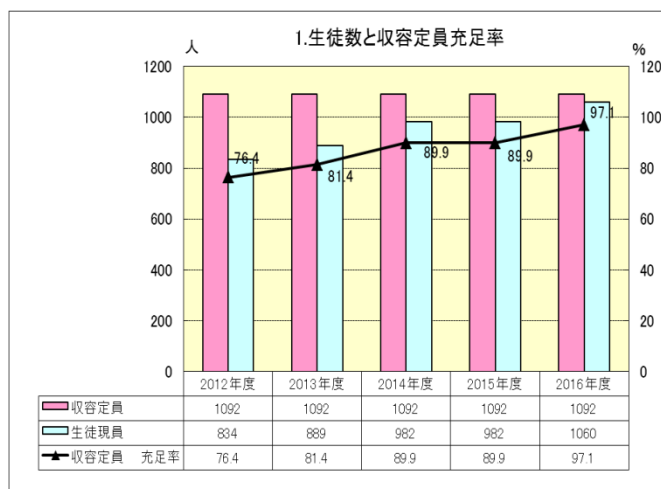
聖隷クリストファー大学

2016年度決算（大学全体）



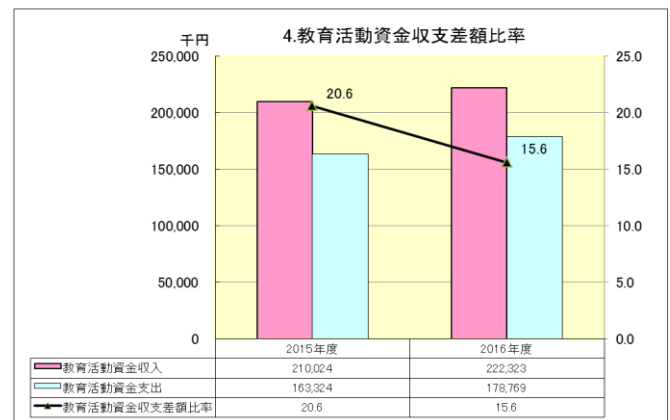
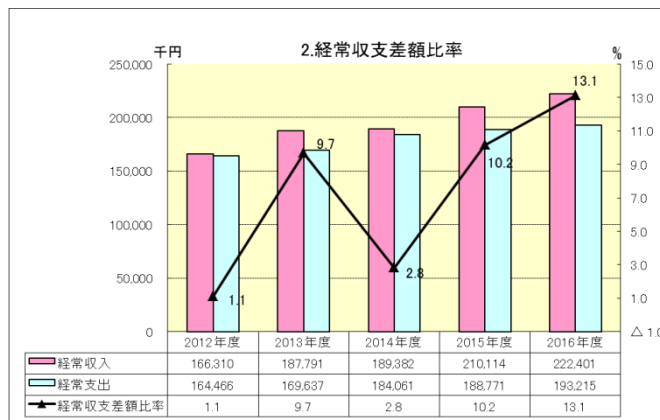
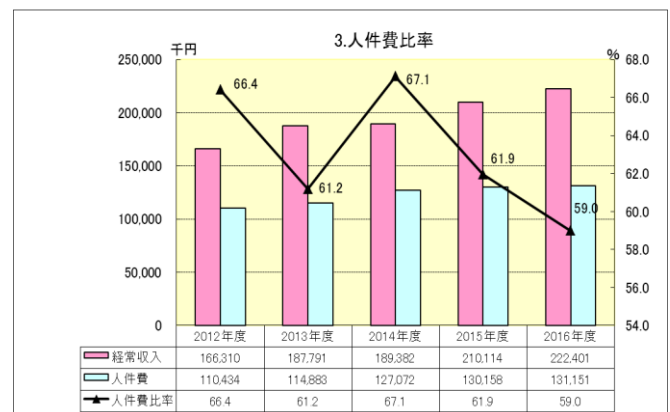
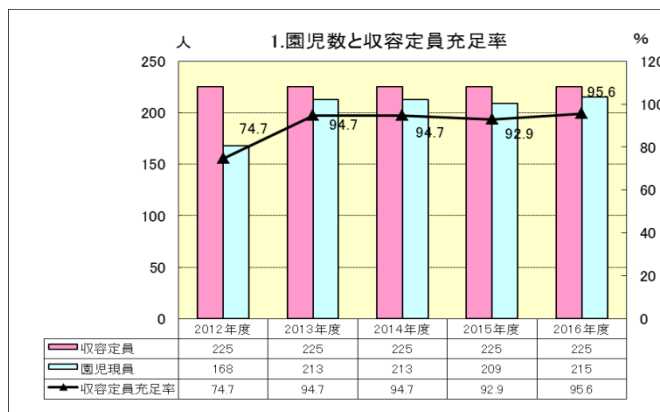
聖隷クリストファー中・高等学校

2016 年度決算（中・高等学校）



聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2016 年度決算（こども園）



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、2016 年度 4 月開校のため財務比率のみ掲載します。

収容定員	学生現員数	定員充足率	人件費比率	経常収支差額比率	教育活動資金収支差額比率
40	22	55.0%	211.9%	△186.7%	52.4%

4 その他

(1) 借入金の状況

(単位:円)

借 入 先	期末残高	摘 要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	880,640,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	342,800,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	139,700,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松信用金庫三方原支店	397,270,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	346,100,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	2,106,510,000	

(2) 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏 名	金 額	用途・品目等
一般寄付金	個人(2名)	210,000	
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	2,394,264	
	聖隷クリストファー中・高等学校学年会計	308,582	
	合 計	2,912,846	
特別寄付金	個人(36名)	376,328	図書購入資金、部活動支援
	SRS(株)	800,000	菅野・太田・長谷川奨学金
	聖隷クリストファー大学同窓会様	420,000	図書購入資金 他
	聖隷クリストファー大学後援会様	14,255,041	スクールバス経費、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	33,195,633	スクールバス経費
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	567,167	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	合 計	49,614,169	
現物寄付金	個人(32名)	6,006,737	科研費補助金購入備品 他
	聖隷クリストファー高等学校2016年度卒業生様	1,695,116	プロジェクター、暗幕カーテン 他
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	483,840	ルームエアコン、扇風機
	クリストファーこども園2016年度卒園児様	215,000	記念植樹2本(イチョウ、ウラジロモミ)
	合 計	8,400,693	

寄付金合計 60,927,708

(3) 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	287,149,000
私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費	文部科学省	高校	2,024,700
		中学	357,300
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	106,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	310,465,000
		中学	52,193,000
		こども園	1,736,000
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	914,000
私立幼稚園緊急環境整備事業費補助金	静岡県	こども園	481,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	332,784
		高校	292,968
		専門学校	20,592
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,525,835
		中学	269,265
施設型給付費	浜松市	こども園	133,231,110
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	10,240,900
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	11,481,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	1,546,000
合計			814,366,454

(4) 関連当事者等との取引の状況

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務保証 (注1)	906,780,000	—	—
理事	山本 敏博	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉 事業団 理事長	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,888,000	教育研究 経費	—
						—	健康診断 委託	学生生徒検診 委託料(注2)	3,767,193	教育研究 経費	—
						—	実習受入	実習受入謝礼(注2)	4,662,100	教育研究 経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は平成29年3月末残高である。

なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。

取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

(5) 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により14通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率8.5%で、A3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。

